

# 景況レポート

(9月分・情報連絡員60名)

## 製造業DI値が過去最低記録に並ぶ

### 【概況(全体)】

8月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが5.0%(前回調査5.0%)、「悪化」が71.7%(同65.0%)で、業界全体のDI値は-66.7となり、前月調査と比較して6.7ポイント下回った。

東北・北海道ブロックにおいても本県と同様にDI値が前月より下降した。一方、全国のDI値は6月から上昇が継続しており、Go Toキャンペーン等の景気刺激策に期待する声が大きく、景況感に地域差が出ている。

### 【業界別の状況】

新型コロナウイルスによる影響が長期化し、受注等が前年割れのまま回復の見通しが立たないことから、製造業の景況DI値は5月と並び、過去最低タイ記録となった。

一方、非製造業では、上旬の猛暑に伴うエアコン受注増、シルバーウィークの観光客増、菅総理誕生を記念したセール等が影響し、前月のDI値を維持した。

この結果、全体景況DI値は5月以来4ヶ月ぶりに前月を下回った。

### <全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

	秋田県	全国	東北・北海道
全体	-66.7	-61.7	-57.6
製造業	-91.7	-66.5	-62.9
非製造業	-50.0	-57.8	-54.3

### <景況天気図>

項目	業界の景況	売上高	収益状況	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業							
非製造業							

【凡例】



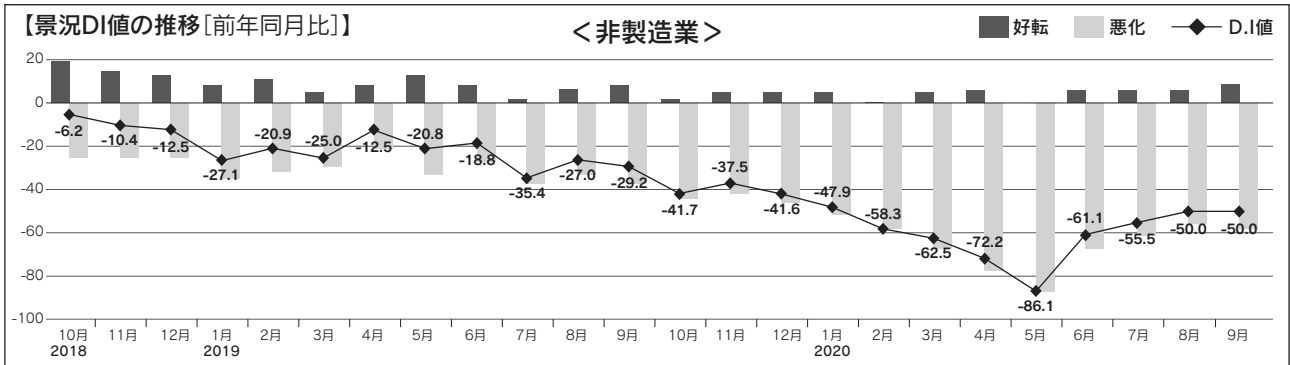
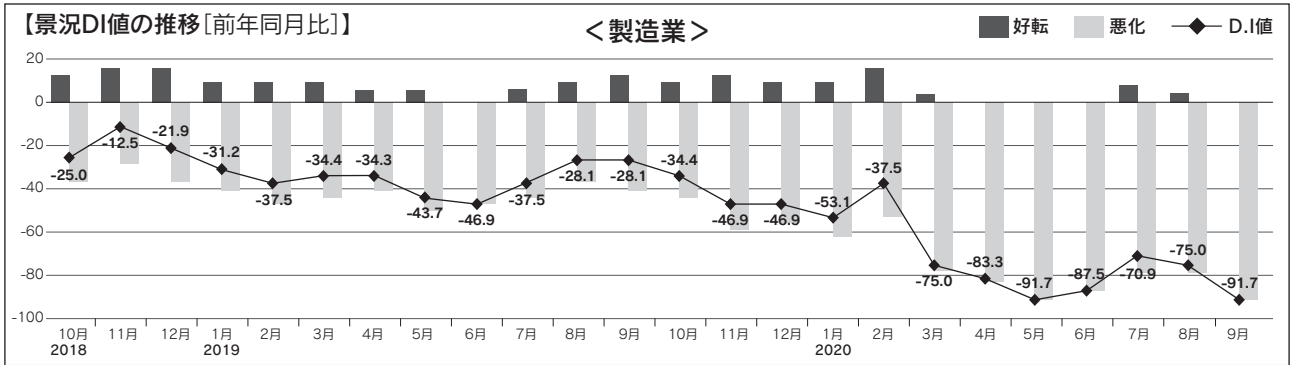
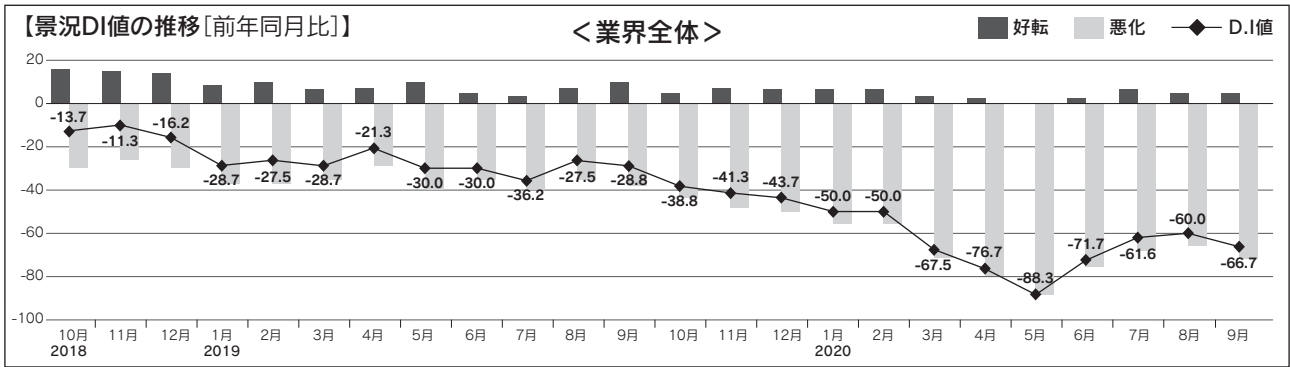
【天気図の見方】  
前年同月のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

### 【業界の声】 ~製造業~

(回答数：24名 回答率：100%)

食料品 (菓子)	シルバーウィークや彼岸などがあり、月の後半は物の動きが少し活発だったが引き続き厳しい経営が続いている。
食料品 (精穀・製粉)	移動制限の緩和等により、シルバーウィークや彼岸は、若干の回復傾向がみられたが、前年同月の売上には届かなかった。
繊維工業 (ニット)	9月、10月の受注は各社前年度比40~50%減少しており、医療用ガウンの受注で補っている状況であるが、11月以降の見通しは立っていない。
繊維工業 (繊維)	新型コロナウイルスによる販売不振の影響で受注が大幅に落ち込んでいることに加え、2021年春夏物の見通しが立っていない状況である。(中央地区)
木材・木製品 (一般製材)	9月の販売高は、6月からの製品価格の引き下げが大きく影響し、前年同月比14.0%の減少となった。原木の虫害被害が拡大していることに加え、新型コロナウイルスの影響による営業自粛などで10月以降も厳しい経営環境が予想される。
木材・木製品 (素材生産)	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、合板材工場の生産、販売量が前年同月比約6割程度減少したため、素材生産業者が生産した素材の在庫が増加した。今後、消費が回復しない場合、在庫の劣化(虫害)による販売価格の低下に伴い、素材生産業者の資金繰りが厳しくなることが予想される。
窯業・土石製品 (生コンクリート)	9月の出荷数量は前年同月比92.2%であり、4月~9月までの累計では97.5%となっている。要因は、秋田中央地区では市立病院、文化施設、洋上風力発電建設工事で出荷数量が出ているものの、県南、大館、鹿角及び本荘由利地区の落ち込みが大きいことが影響した。今後は鹿角地区の風力発電建設工事が期待される。
鉄鋼・金属 (鉄鋼)	新型コロナウイルスの影響が依然として続いており、新規見積物件も少なく、各社とも稼働率が悪化している。先行きが見通せず、非常に不安である。
その他の製造業 (漆器)	シルバーウィークから徐々に観光客が増えており、売り上げも回復傾向にある。県をまたいでの業者の販売も開催されるようになってきたが、テパト等では、まだ集客は少なく売り上げにはつながっていない模様である。



【業界の声】 ~非製造業~

(回答数：36名 回答率：100%)

**卸売業 (米 麦 卸)** 令和2年産米の集荷が始まり、JA全農あきたから各JAを通じて農家へ支払われる概算金  
が元年産米より60kgあたり700円下がり、供給過剰が明らかとなった。卸が元年産米を  
大量に持っていること、コロナ禍における外食産業の消費減退により、消費地での新米  
切り替えが10月中旬以降にずれ込むことで販売不調となっている。また、60kgあたり  
の販売価格が暴落(前年△2,000円)しており、かつてない状況となっている。

**小売業 (みやげ品)** 新型コロナウイルスの影響がみられるが、9月はシルバーウィーク等もあり、8月より多  
少上回り、前年同月比35%の実績となった。

**小売業 (電機)** 月初めの猛暑により、当初見込んでいなかったエアコンの需要があり、前年同月比109%  
の売上となった。

**商店街** 飲食業の一部に持ち直しの動きがみられるが、当組合の組合員店舗は厳しい状況であ  
る。特に、食料品製造業者は、新型コロナウイルスの影響でホテルの宴会がほとんどない  
ため、注文がなく厳しい状況である。(秋田市)

当市出身の菅総理が誕生したことで商店街全体が盛り上がった。特に小売・飲食業を中  
心に菅総理関連の記念商品販売、記念メニュー提供と併せて99セール、のぼり旗、横断  
幕設置など商店街のイメージアップが図られた。本県初の総理誕生で、コロナ禍での閉  
塞感から開放感、精神的な高揚感につながり、良い影響となっている。(湯沢市)

**サービス業 (タクシー)** 運行回数(対前年同月比)は72.9%、運送収入(同)は67.2%で推移した。新型コロナウ  
イルスの拡大懸念による県内外からの来訪者減少に歯止めがかかっておらず、回復には  
まだ時間がかかるようだ。

**建設業 (電気工事)** 中旬までは、残暑やフェーン現象等により蒸し暑く、エアコンの受注が長引いたため多  
忙であった。県内の新型コロナウイルスの新規感染者数も落ち着き、改修工事等が重  
なったため、それなりに忙しかった。(中央地区)

**運輸業 (トラック)** 3ヶ月ぶりに軽油単価が少し下がり、荷物も米、機材関係が動き出した感じがあるもの  
の、地場の仕事はまだ少なく、時間がかかるものとみられる。(中央地区)